

友松会だより

平成 29 年度 友松会総会報告号

発行責任者 会長 芦川 弘

平成 29 年 7 月 1 日 発行

平成 29 度 友松会 総会 [報告]

日時 平成 29 年 6 月 24 日(土) 10:00～

会場 茅ヶ崎市コミュニティーホール

総会スローガン

「深まろう 高まろう

つながる会員 つながる大学」

総会次第

第 1 部 総会

開会のことば 国歌斉唱

物故会員への黙祷 会長挨拶

来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露

会務報告 卒寿会員への記念品贈呈

松沢研究奨励賞贈呈

次期開催ブロック挨拶 閉会のことば

第 2 部 講演会

第 3 部 懇親会

開会のことば 実行委員長挨拶

来賓祝辞 乾杯 歓談

新会員紹介 歓迎のことば

校歌・学生歌斉唱 万歳三唱

閉会のことば

芦川 弘 会長 挨拶 (要旨)

友松会総会の茅ヶ崎市開催を喜び、湘南地区の皆様のご尽力に感謝いたします。

横浜国立大学学長長谷部勇一様をはじめ、多数の来賓のご臨席を賜り、盛大に開催できますことにお礼申し上げます。



今年度、学部改編により教育人間科学部は、教員養成を主目的とする教育学部となりました。友松会も、転換期を迎えた大学とともに、新たな環境のも

と、新たな展開の必要性を認識しなければなりません。学生会員募集は 3 年目となり、友松会は学生支援を積極的に行ってきました。この 3 月には、初めて「卒業生を送る会」を開催し、150 人を超える参加があり盛会となりました。

友松会は、来年度 130 年の節目を迎えます。会則に「会員相互の親睦と向上を図り、母校の発展に貢献するとともに、教育振興など文化の向上に尽くす」を理念としています。その実現のため、本年度のスローガンを掲げ、会員相互及び大学との連携による「さらに行動する友松会」を目標としました。支部活動の活性化を図り、会員同士が一体感を持ち、学生会員の支部加入を温かく迎え入れる存在感のある支部となることが大切です。また、教職以外へ進んだ卒業生のために、同期会の充実も必要です。

10 月には、第 1 回「横国 Day」に、「豊かな教育を考える会」を開催します。なお、本日は、松沢研究奨励賞の受賞者と卒寿を迎えられた方々も出席されています。最後になりましたが、友松会員の皆様のご健康とご多幸を祈念し、本日ご出席の方々に感謝申し上げます、挨拶といたします。

▽ 来賓祝辞 ▽

横浜国立大学学長 長谷部 勇一 様

「友松会には平素から支援いただき感謝している。

芦川会長には副会長として校友会活動に参加いただいている。友松会は、様々な世代の参加交流があつてすばらしい。今年から教



育学部となり学部生全員が教職志望なので、次代を担える教員に育つよう皆様の温かいご指導をお願いしたい。地元との連携もますます大事になる。世界に認められる大学を目指しているが、評価も高まっている。卒業生との交流、基金への協力もお願いしたい。」と、友松会が若い世代を巻き込み活発な同窓会となるよう期待され、祝辞とされました。

茅ヶ崎市教育長 神原 聡 様



子どもの作ったスローガン「まだ 70 年 まだ進化する茅ヶ崎市」を紹介され、「24 万都市の未来へ希望を持てるよう学校教育に取り組んでおり、現役の教員を支えてくださる多くの方がおられることを心強く感じている。友松会の活躍・発展を願う。」と挨拶されました。

▽卒寿を迎えられた会員への記念品贈呈▽

代表 湘南ブロック 田中盛夫 様
西湘ブロック 神保憲朗 様

松沢研究奨励賞贈呈

受賞者 小田原市立千代小学校 尾上知生 教諭
鎌倉市立大船中学校 岩田 明 総括教諭



松沢研究奨励賞贈呈

▽ 講 演 ▽

「教育こそが未来への投資—32 年間の道程」

講師 国際バカロレア機構アジア太平洋地区委員
東京インターナショナルスクール代表取締役
坪谷 ニュウエル 郁子 氏

米国の大学から帰国して「何のために生まれて



きたのか」を考え、人は必ず輝くものや役目を持っていると思いました。「社会をよくするために何をしたらよいか」、「一人では生きられない、全てのものは支え合っている」、この二点に気づき、他の人に教えたいと思ったのが教育活動の原点です。

1985 年、イングリッシュスタジオ開校。1995 年、

東京インターナショナルスクール(小中学校)を設立。

同校は国際バカロレアの認定校です。日本の教育はすごいと思います。基礎学力が高く、特別活動があり、掃除や班長をし、多くを学ぶ。瞬時に相手のことを思うことのできる民族です。欠けているのは、自己肯定感が低いことと、発信力がないことです。日本は「沈黙は金」の文化ですが、言わなければ価値観の違う人にわかってもらえないのです。教育は、未来を、世界を変える力があります。

▽ 懇 親 会 ▽

山本実行委員長より挨拶。来賓祝辞、横浜国立大学教育学部副学部長加藤様、校友会会長杉田様、富丘会理事長宮田様。顧問の金子様の発声で乾杯後、歓談。新会員紹介と歓迎のことば。校歌・学生歌斉唱。顧問の織茂様の音頭による万歳三唱で閉会。

多数の来賓、卒寿を迎えた会員から新任の若い会員までおよそ 140 人が、和やかに歓談。次回は、創立 130 周年記念総会。会場、大磯プリンスホテルで開催されます。



加藤副学部長挨拶



新任教員紹介



会場の様子



校歌斉唱